

# 箱庭療法を用いた自己分析

－作る・描く・感じる・気づく－

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部助教授）
概要	<p>箱庭療法は河合隼雄先生が日本に紹介し、成人や子どもの心理療法において、有効な方法の一つとして、広く実施されています。砂の入った箱（うちのりが57cm×72cm×7cmで、内側が青く塗ってある）に山や川や海を作ったり、様々なミニチュアを置くと、そこにはその人の内的世界が生まれていきます。</p> <p>箱庭療法では本来、一人の人が何回も箱庭を置いていくのですが、本講座では、箱庭制作は、一人一回のみとなります。たった一度の箱庭制作にはもちろんその限界もあるのですが、思いを込めた作品はきっと、その人の内的世界を生き生きと表現してくれるでしょう。</p> <p>自分が置かない回は、他の人の箱庭制作を見守り、その箱庭に触発された自分のイメージや感覚や言葉を、絵や言葉で表現していきます。同じ箱庭作品を見ても、そこから感じ取ること、生まれてくるイメージは人によって様々です。それぞれの方の個性を感じるとともに、そこにも自己分析、自己発見の機会が生まれていきます。</p> <p>箱庭作品を作ること、また、他の人の箱庭を見て生まれてくるイメージや言葉を通して、じっくり、ゆっくり自分に目を向け、感じ、向き合い、自分に気づく、そんな時間をご一緒したいと思います。</p> <p>講座内容（予定）</p> <p>第1回 箱庭療法の概説、この講座のすすめかたの説明、箱庭制作①</p> <p>第2～5回 箱庭制作②～⑤</p> <p>第6回 箱庭制作⑥、まとめ</p>
日程	土曜日 6回 14:00～17:00 2004年5月15日、5月29日、6月5日、6月19日、7月3日、7月10日
定員	10名
会場	南山大学 D棟
研修費	27,300円（消費税ならびに申込金2,000円含む）
ご注意	※現在、精神科、心療内科等への通院やカウンセリングを継続中の方は、必ず、その担当医師またはカウンセラーに研修参加の了解をとり、参加を許可する文章を事前にご提出ください。この点に関して、詳細をお知りになりたい方は、人間関係研究センター事務局まで、ご相談ください。